

WATER-SOLUBLE POWDERY LUBRICANT FOR MASSAGING

Patent number: JP61183205
Publication date: 1986-08-15
Inventor: MORITA SHINICHI
Applicant: RATSUTO KAGAKU KK
Classification:
- international: A61K7/00
- european: A61K7/48N
Application number: JP19850023791 19850209
Priority number(s): JP19850023791 19850209

[Report a data error here](#)

Abstract of [JP61183205](#)

PURPOSE: To provide the title agent produced by mixing powder of sodium polyacrylate to powder of highly water-absorbing resin, applicable to the skin without giving sticky feeling, capable of keeping the lubricity for a long period, giving little irritation to the skin, having excellent safety, and removable with water after use. **CONSTITUTION:** A water-soluble powdery lubricant for massaging is produced by mixing (A) powder of highly water-absorbing resin (preferably an acrylic polymer such as an acrylic acid-vinyl alcohol copolymer, sodium acrylate polymer, sodium acrylate-acrylamide copolymer, etc.) as a lubricant suitable for the massaging of the skin for medical treatment or beauty treatment with (B) powder of sodium polyacrylate. When water is added to the above lubricant, the highly water-absorbing resin rapidly absorbs water to increase the viscosity, and the lubricant becomes a sol. The sol can be applied to the skin for massaging without damaging the skin, and can be used pleasantly as the massaging assistant.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑫ 公開特許公報 (A)

昭61-183205

⑬ Int. Cl. 1

A 61 K 7/00

識別記号

厅内整理番号

7306-4C

⑬ 公開 昭和61年(1986)8月15日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 マッサージ用水溶性の粉末潤滑剤

⑮ 特願 昭60-23791

⑯ 出願 昭60(1985)2月9日

⑰ 発明者 森田 信一 東京都千代田区神田岩本町2-8-13 ラット化学株式会社内

⑱ 出願人 ラット化学株式会社 東京都千代田区神田岩本町2-8-13

⑲ 代理人 弁理士 前田 滑美

明細書

1 発明の名称

マッサージ用水溶性の粉末潤滑剤

2 特許請求の範囲

高吸水性の樹脂粉末ヘボリックアクリル酸ソーダの粉末を混合してなるマッサージ用水溶性の粉末潤滑剤。

3 発明の詳細な説明

(発明の利用分野)

医療とか美容のためにマッサージするときの使用に好適な潤滑剤。

(従来の技術)

医療とか美容のためにマッサージするときには潤滑剤を使用することが多くなってきている。

その潤滑剤としてはタルクパウダー、オイル、ワセリン、乳液、水溶性高分子の水溶液が使用され、これにより皮膚に対する刺激を柔らげるようしているが、最近は複数液を混合した水溶液の潤滑剤の使用が多くなって

いる。

しかし前記潤滑剤はいずれも下記のことき欠点がある。

すなわち、タルクパウダーでは身体や手の汗によって滑性を失う。

オイルやワセリンのはあいは使用後にべとつき、不快感が残る。

乳液のはあいは滑性を長時間保持させることが困難である。

水溶性高分子の水溶液のはあいは水が添加されているので、腐敗、酸化防止のために殺菌剤や防腐剤あるいは酸化防止剤を使用せねばならず、ために皮膚に対する安全性の全さは期し難い。

(本発明の目的)

本発明は使用後にべとつかず、滑性が長時間保持され、皮膚に対する刺激が弱なくて安全性にすぐれ、また使用後は水で容易に洗い落すことができて、前述した従来の欠点が除去されたマッサージ用水溶性の粉末潤滑剤

を提供できるようにした。

(本発明の手段)

前記目的を達成するだめに、本発明のマッサージ用氷溶性の粉末潤滑剤は高吸水性の樹脂粉末へポリアクリル酸ソーダの粉末を混合したものとしてある。

このように構成した本発明のマッサージ用氷溶性の粉末潤滑剤は使用前は粉末を固しているが、水を加えると高吸水性の樹脂が急速に抱水して粘性が増加し、ゾル状に変化する。それを皮膚へ塗ることにより肌を傷めることなくマッサージでき、マッサージ補助剤として快適に使用できる。

(本発明の実施例)

本発明における一成分としての高吸水性樹脂の一例にはアクリル酸・ビニルアルコール共重合体、アクリル酸ソーダ重合体、アクリル酸ソーダアクリルアミド共重合体等のアクリル系重合体が好適である。

実施例 1

3

ル酸ソーダの使用量を可及的小ならしめうるので安全性の高い潤滑剤として使用できる。

実施例 2 では硅酸塩によりアクリル系重合体とポリアクリル酸ソーダとがムラなく均一に混和されて、より滑性のすぐれたものとなり、また消炎剤により肌が傷められることはなく、かつビタミン剤によって肌に栄養が補給される。

また、本発明の潤滑剤は粉末であるので壺や容器に充填して包装できるほかに、液状のものと異なって1回の使用量相当分を小袋などでパッケージングすることができ、したがって液状のもののはあいよりも包装費をはるかに安く上げることができ、しかも消費者が手軽に使用できるという利点もある。

出願人 ラット化学株式会社

代理人 弁理士 前田 清美

アクリル系重合体の粉末・・・6.0 部
ポリアクリル酸ソーダの粉末・・・1.5 部

実施例 2

アクリル系重合体の粉末	5.0 部
ポリアクリル酸ソーダの粉末	1.5 部
硅酸塩	0.1 部
消炎剤	0.05 部
ビタミン剤	0.05 部

以上の実施例においては使用前は粉末を固しているが、水または温水を加えると、アクリル系重合体が数分間のうちに80~100 ml/gの吸水能力で急速に抱水し、またアクリル系重合体の粒子間にポリアクリル酸ソーダの粘弹性のある水溶液が混和されて、ポリアクリル酸ソーダの高濃度水溶液と同等に粘弹性に富む潤滑液となる。

また吸水したアクリル系重合体は保水性にも富むので、粘弹性のあるゾル状潤滑液に長時間保持することができ、さらにポリアクリ

4